

平成 30 年 8 月 31 日
政 策 統 括 官
(国土・土地、国会等移転)

日本最大級の地下空間のデジタル地図を初公開 ～東京駅周辺の屋内ナビゲーションアプリの開発が容易に～

国土交通省は、屋内外の測位環境を活用した様々な民間サービスの創出が図られることを目指し、東京駅周辺の屋内電子地図をG空間情報センター^{※1}にて本日から公開します。

これにより、「誰でも」「自由に」屋内地図をダウンロードすることができ、屋内ナビゲーションアプリの開発などが可能となります。^{※2}

【取組の経緯】

国土交通省では、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とし、訪日外国人・高齢者・障害者を含む誰もが、屋内・屋外を問わずシームレスに目的地へ円滑に移動できる社会の実現を目指して、「高精度測位社会プロジェクト」を実施しています。(プロジェクトの概要については、別紙2参照)

プロジェクトでは、日本の玄関口かつビジネスの中核であり、日本最大級の地下空間が広がる東京駅周辺において、屋内電子地図や屋内測位環境を整備し、その環境を活用した屋内外シームレスなナビゲーションサービスの実証実験を実施しました。

今回、屋内外の測位環境を活用した様々な民間サービスの創出に御利用いただけますよう、実証実験の際に整備した東京駅周辺の屋内電子地図を昨年11月の新宿駅周辺屋内地図に続き、G空間情報センター(https://www.geospatial.jp/gp_front/)にて公開いたします。

【今回公開する東京駅周辺屋内地図】※別紙1参照

- ・日本最大級の地下空間、東京駅を中心とした東西約1km、南北約2kmの範囲を対象に整備。
- ・20を超える鉄道施設や民間ビル、公共施設等にまたがる屋内電子地図を関係者の協力により初公開。(改札内は含みません)
- ・サービスの基盤となる屋内地図として、公共的な通路や階段等データを含み作成。通路の段差や勾配等を含む屋内ネットワークデータを利用し、段差を回避したバリアフリールートの検索等のサービスも開発可能。

※1 G空間情報センター:平成28年に稼働が開始された産学官の地理空間情報を扱うプラットフォーム。官民問わず様々な主体により整備・提供される多様な地理空間情報を集約し、利用者がワンストップで検索・ダウンロードし利用することが可能。

※2 アプリの作成に際して駅構内などで調査などを行う場合は、各施設管理者の許可が必要。

〔問合せ先〕国土政策局国土情報課 井上、二宮

電話:(代表)03-5253-8111(内線29823、29825) / (直通)03-5253-8353、FAX:03-5253-1569